TOTO

# 洗面化粧台施工説明書 LDD700・701 LDSD700・701

製品の機能が十分発揮されるように、施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。
この施工説明書と水栓金具・排水金具・電気温水器に同梱されている説明書と合わせてご確認ください。

## ☆安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
  使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

| 表　示 | 意　味 |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。 |

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

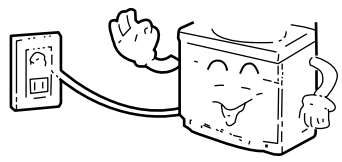
| | |
|---|---|
| ⃠ | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |

●本体に同梱されている取扱説明書は、お客さまにお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

### ⚠警告

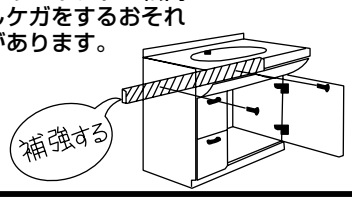
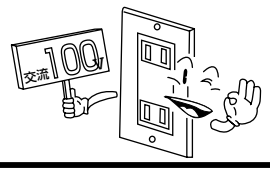
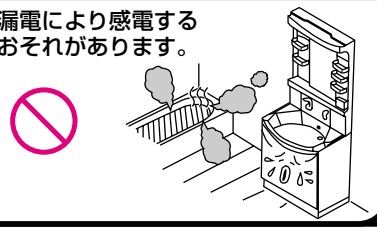
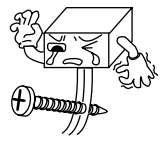
アース工事を行ってください（D種接地工事）

漏電により感電するおそれがあります。

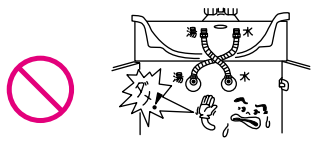
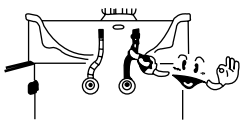


（電気温水器付のみ）

### ⚠警告

| 壁固定ねじ取付位置に桟を入れて補強してください | 電気配線工事・給排水工事は、関連する法令に従って、必ず「有資格者・業者」が行ってください | 電源は交流100Vを使用してください | 浴室など湿気の多い場所へ設置しないでください | 電気コードを傷つけないでください |
|---|---|---|---|---|
| キャビネットが転倒しケガをするおそれがあります。 | 火災や感電及び漏水の原因になります。 | 交流100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。 | 漏電により感電するおそれがあります。 | 電気コードを傷つけると火災のおそれがあります。特に壁固定の際は気をつけてください。 |
|  | |  |  |  |

### ⚠注意

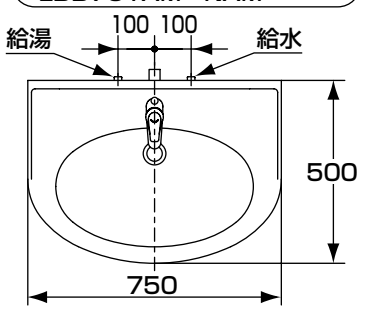
| 湯・水を逆に配管しないでください | 凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行ってください | カウンター・洗面器の上に乗らないでください | 工事完了後、給排水管から漏水がないことを必ず確認してください | 工事完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・ガタツキ丁番のゆるみがないかを必ず確認してください |
|---|---|---|---|---|
| 水側でいきなり湯が出て、火傷をする原因になります。 | 凍結破損で漏水し家財等に損害を与えるおそれがあります。 | 故障及び転落・転倒してケガの原因になります。 | 漏水を起こすと、家財等に損害を与えるおそれがあります。 | 使用中にキャビネット・扉が落下してケガをする原因になります。 |
|  |  | | | |

## ☆工事寸法

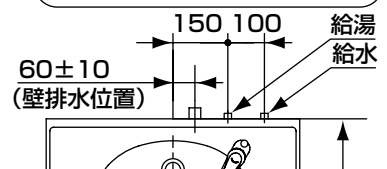
〈シングルレバー混合栓
ホース付シングルレバー混合栓の場合〉

- 特殊品の場合の工事寸法は、承認図を確認してください。
- 図はLDD700BMタイプです。
  その他の機種は外観が若干異なります。
- ＊印は木ねじ位置を示します。

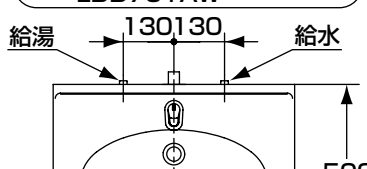
LDD700AM・NAM
LDD701AM・NAM の場合

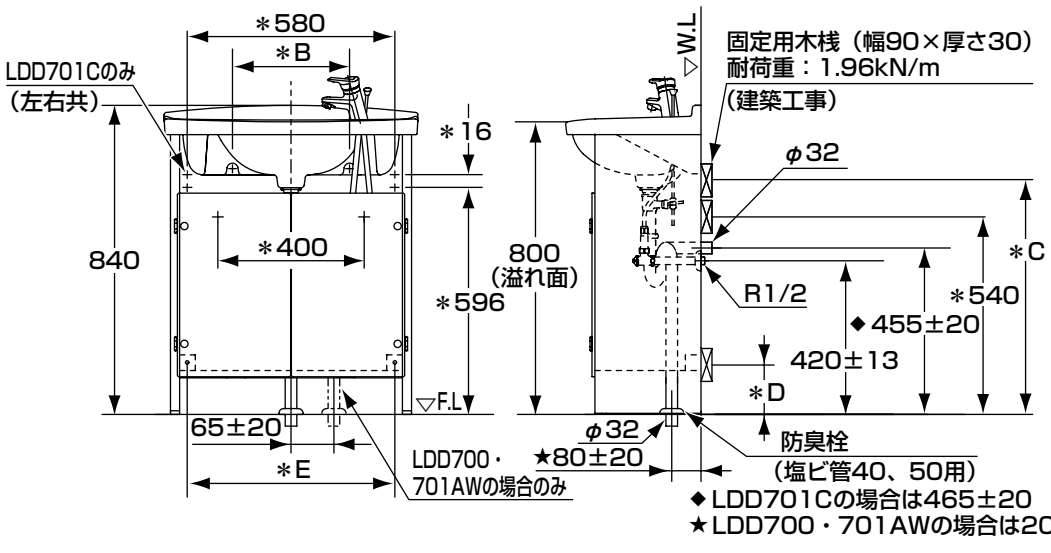



LDD700BM・NBM
LDD701BM・NBM の場合
LDD701CJ




LDD700AW
LDD701AW の場合



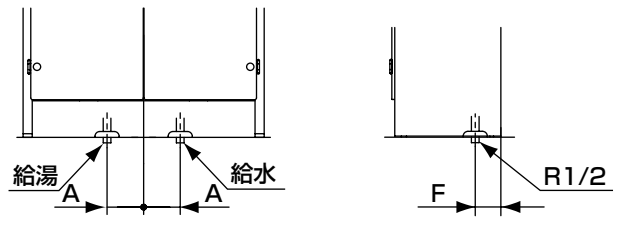




※止水栓は付属していませんので必要な場合は、下記品番の別売品をご購入ください。

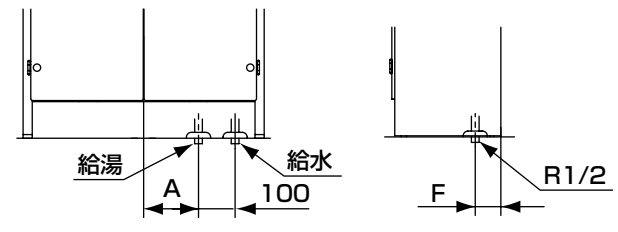
| 製品品番 | 止水栓 | |
|---|---|---|
| | 壁給水用 | 床給水用 |
| LDD700AM・NAM<br>LDD701AM・NAM | LTL594CAU×2個 | LTL594CBU×2個 |
| LDD700BM・NBM<br>LDD701BM・NBM<br>LDD701CJ | LTL594CA1U×2個 | |
| LDD700AW<br>LDD701AW | LTL594CAU×2個 | LT4BD8U×2個 |

床給水の場合

LDD700AM・NAM
LDD701AM・NAM
LDD700AW
LDD701AW




LDD700BM・NBM
LDD701BM・NBM




| 製品品番 | 給水(湯)位置 | 壁固定位置 | | | | 給水(湯)位置 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | A | B | C | D | E | F |
| LDD700AM | 100 | 304 | 634 | 135 | 573 | 80 |
| LDD700NAM | | | | – | 573 | |
| LDD701AM・NAM | | | | – | – | |
| LDD700AW | 130 | | | 135 | 573 | 150 |
| LDD701AW | | | | – | 573 | |
| LDD700BM | 150 | 314 | 672 | 135 | 573 | 145 |
| LDD700NBM | | | | – | 573 | |
| LDD701BM・NBM | | | | – | – | |
| LDD701CJ | | – | – | – | – | 80 |

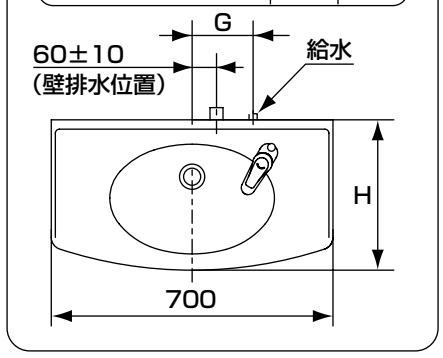
## 単水栓・自動水栓・電気温水器付（シングルレバー混合栓）の場合

- 特殊品の場合の工事寸法は、承認図を確認してください。
- 図はLDD700BDGタイプです。その他の機種は外観が若干異なります。
- ＊印は木ねじ位置を示します。
- 電気温水器付きの場合壁排水はできません。（自動水栓電気温水器タイプを除く）

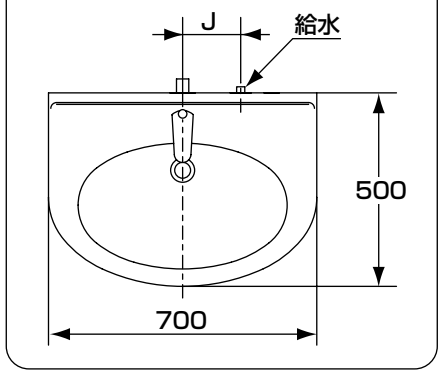
※自動水栓（電温なし）以外は止水栓を付属していませんので必要な場合は、下記品番の別売品をご購入ください。

| 製品品番 | 止水栓 | |
|---|---|---|
| | 壁給水用 | 床給水用 |
| LDSD700AMHS・BMHS<br>LDSD700AYH・BYH | LTL594CAU×1個 | ー |
| LDD700BDG・NBDG<br>LDD701BDG・NBDG | LTL594CAU×1個<br>LTN65LX35×1個 | ー |

| | G | H |
|---|---|---|
| LDSD700BMH<br>LDD700BYH<br>LDD700BDG・NBDG<br>LDD701BDG・NBDG | 150 | 370 |
| LDD700BY・NBY<br>LDD701BY・NBY | 140 | |
| LDD701CY | | 430 |

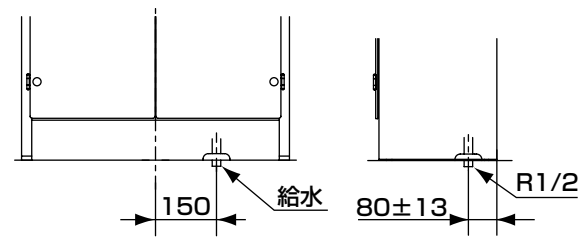



| | J |
|---|---|
| LDSD700AMH・AYH | 150 |
| LDD700AY・NAY<br>LDD701AY・NAY | 140 |



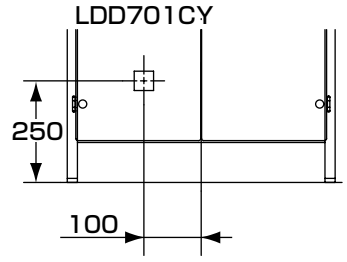

### 床給水の場合

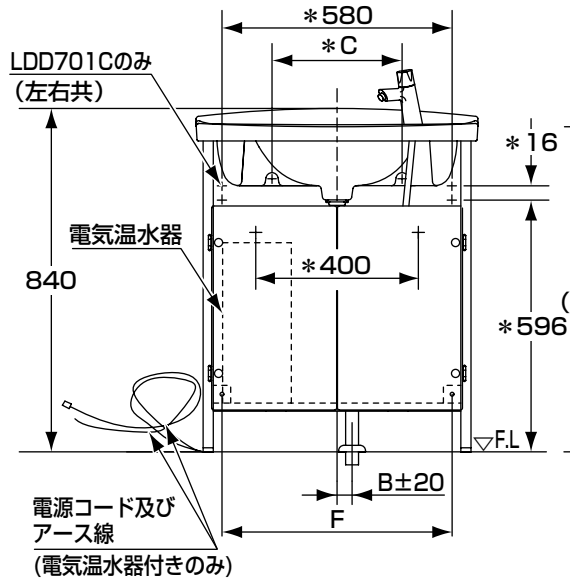
LDD700BDG・NBDG
LDD701BDG・NBDG

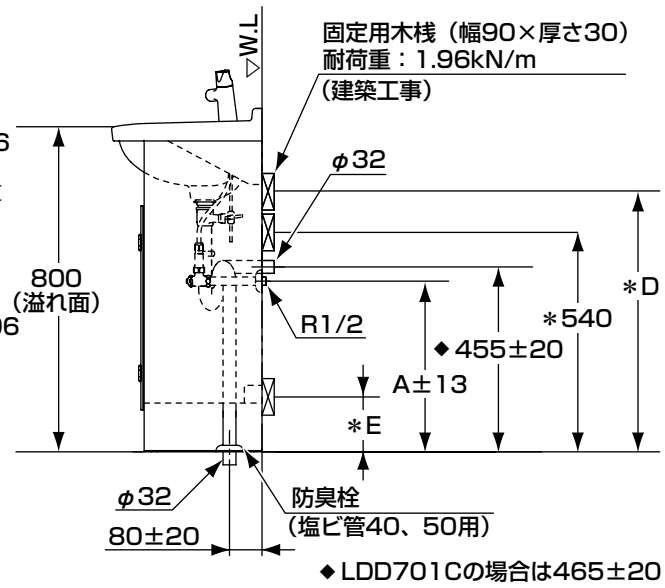



自動水栓コンセント取出し位置

LDD700AY・NAY
LDD701AY・NAY
LDD700BY・NBY
LDD701BY・NBY
LDD701CY




| 製品品番 | 給排水位置 | | 壁固定位置 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | A | B | C | D | E | F |
| LDD700AY | 290 | 0 | 304 | 634 | 135 | 573 |
| LDD700NAY | | | | | – | 573 |
| LDD701AY・NAY | | | | | – | – |
| LDSD700AMHS | 420 | 40 | | | 135 | 573 |
| LDSD700AYH | | 0 | | | 135 | 573 |
| LDD700BDG | | | 314 | 672 | 135 | 573 |
| LDD700NBDG | | | | | – | 573 |
| LDD701BDG・NBDG | | | | | – | – |
| LDD700BY | 290 | | | | 135 | 573 |
| LDD700NBY | | | | | – | 573 |
| LDD701BY・NBY | | | | | – | – |
| LDSD700BMHS | 420 | 40 | | | 135 | 573 |
| LDSD700BYH | | 0 | | | 135 | 573 |
| LDD701C | 290 | | – | – | – | – |

## ☆部品明細

※機種によって多少形状がことなります。

[共通部品]

| 洗面器 | 水栓金具（保証書同梱） | 排水金具 |
|---|---|---|
| 1個 | 1セット | 1セット |
| 防臭栓 | 排水ふた（扉付タイプのみ） | 給水ふた（扉付タイプのみ） |
| ● 1個 | ● 1個 | ● 2個 |
| 壁固定金具 | パッキン | 木ねじ（扉付タイプのみ） |
| 2個 / 2個（カウンタータイプのみ） | ■ 2本（洗面器固定用） | ● 7本 φ3×12（給水・排水ふた固定用） |
| 木ねじ | 取扱説明書（保証書付） | 丁番固定ねじ |
| ウッドパネルタイプ：6本<br>パイプフレームタイプ：4本<br>カウンタータイプ：2本<br>φ4.5×50（壁・床固定用） | 1冊 | |
| 水受けトレイ，ホースガイド | 電気温水器（電気温水器付のみ） | |
| ※ホース付シングル水栓のみ 1個<br>水受けトレイ | 1セット | |

■カウンタータイプには同梱されません。
●印のある部品は機種により必要数が同梱されています。

ウッドパネルタイプ

| 側板（左右） | 前　桟 | 後　桟 | 底板（扉付タイプのみ） |
|---|---|---|---|
| 2枚 | 1本 | 1本 | 1枚 |
| 棚　板 | 扉（扉付タイプのみ） | 連結ねじ | アングル |
| LDD700AM・AY NAM・NAY 2枚<br>その他は1枚 | 2枚 | オープンタイプ：4本<br>扉付きタイプ：8本 | 2個 |
| 木ねじ（扉付タイプのみ） | 木ねじ | 座金（オープンタイプのみ） | 化粧キャップ（オープンタイプのみ） |
| 12本<br>φ3×14（丁番取付用） | オープンタイプ：皿木ねじ2本 φ4.5×25<br>扉付タイプ：なべ木ねじ2本 φ4.5×16<br>（アングル固定用） | 2個 | 4個 |

パイプフレームタイプ

| フレーム（左右） | 連結パイプ | 扉（扉付タイプのみ） | 底板（扉付タイプのみ） | 扉用クッション（扉付タイプのみ） |
|---|---|---|---|---|
| 2個 | オープンタイプ：2本<br>扉付タイプ：4本 | 2枚 | 1枚 | 4個 |
| 小ねじ（扉付タイプのみ） | 連結金具 | 小ねじ | 小ねじ | 隠し板 |
| 12本<br>M4×10（丁番取付用） | オープンタイプ：4個<br>扉付タイプ：8個 | オープンタイプ：8本<br>扉付タイプ：16本<br>M4×10（連結パイプ固定用） | オープンタイプ：4本<br>扉付タイプ：8本<br>M4×10（連結金具固定用） | ※カウンタータイプのみ 2枚 |
| 六角ねじ | パッキン | 洗面カウンター | 化粧ねじ | ばね座金 |
| 4本<br>φ4×25（床固定用） | ※カウンタータイプのみ 1枚<br>（水栓固定用） | ※カウンタータイプ シングル水栓のみ 1個 | ※カウンタータイプのみ 4個 | ※カウンタータイプのみ 4個 |

## ☆設置上の注意

- 湿気の多い場所では、パイプの腐食や木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。
  特に浴室内には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- 取付けは必ず平滑な壁面としてください。

## ☆あらかじめ必要な電気工事（必ず電気工事店にて工事してください。）

〈電気温水器又は、自動水栓が付く場合は、電気工事を行って下さい。〉

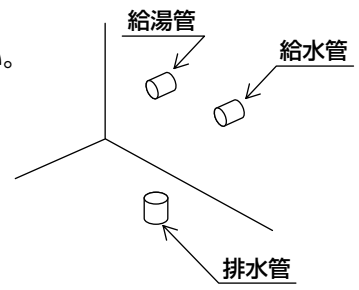
- 電源は、交流100V（50/60Hz）、温水器消費電力600W又は、自動水栓消費電力5Wに適した配線をしてください。
- 電気温水器が付く場合は、漏電による感電防止のため、アース工事を行ってください。（D種接地工事）

## ☆使用条件（単水栓は除く）

- 水栓金具の使用条件は水栓金具に同梱の施工説明書をご参照ください。
- 電気温水器の使用条件は、電気温水器に同梱の施工説明書をご参照ください。

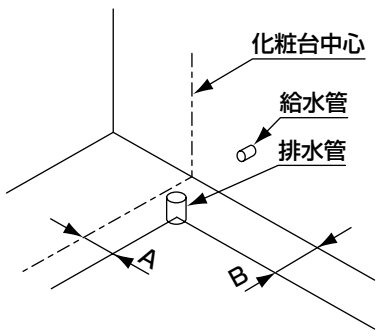
## ☆取付前の準備

- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木桟を入れてください。
  （壁面に固定用木桟が取付けられない場合は、前面に厚み12㎜以上のクロス張りした板を強固に取付けてください。）
- 給水・給湯管を所定の位置に取出してください。
- 器具を取付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 化粧台の取付壁面は露出する部分がありますので、クロス貼り等の壁仕上げをしておいてください。
- 扉付タイプの化粧台で床給水・床排水仕様の場合は所定の位置に給水・給湯穴（φ52）、排水穴（φ90）を穴あけしてください。
- 排水管を所定の位置に取り出してください。
  VP40、VU40は、仕上げ面より25mm立上げてください。
  VP50、VU50は、仕上げ面より15mm立上げてください。
  電気温水器付きの場合は、排水管サイズにかかわらず仕上げ面より75mm立上げてください。

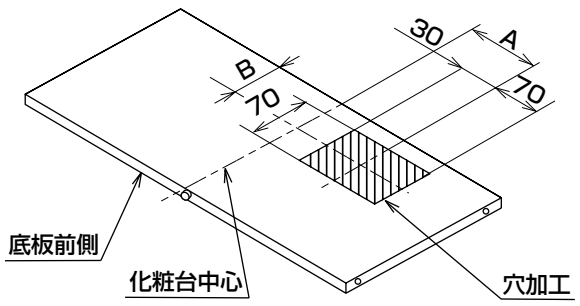



- ウッドパネルタイプ電気温水器付き（シングルレバー混合栓のみ）の場合は、排水管位置を測定して下記の底板と側板を加工してください。

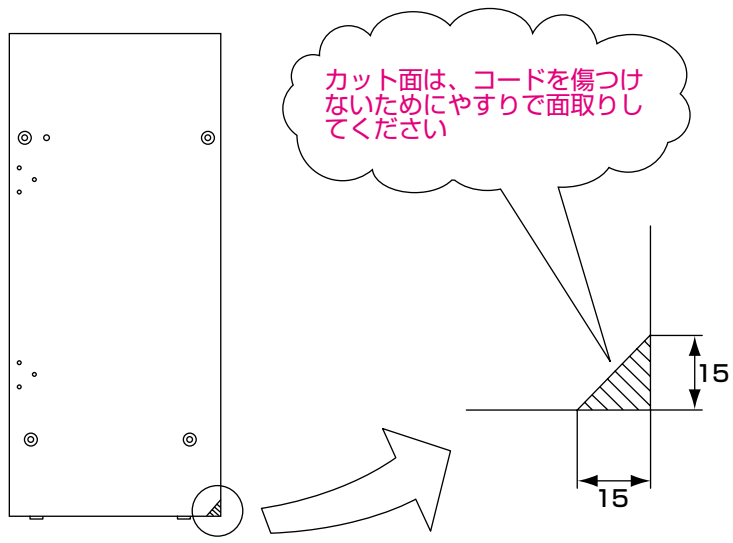
⑴排水管位置を測定してください。




⑵底板に穴加工してください。




⑶電源コード及びアース線をキャビネット外へ取出す場合は電源コード及びアース線を取出す側の側板の後下部をカットしてください。
※図は左側板を示します。

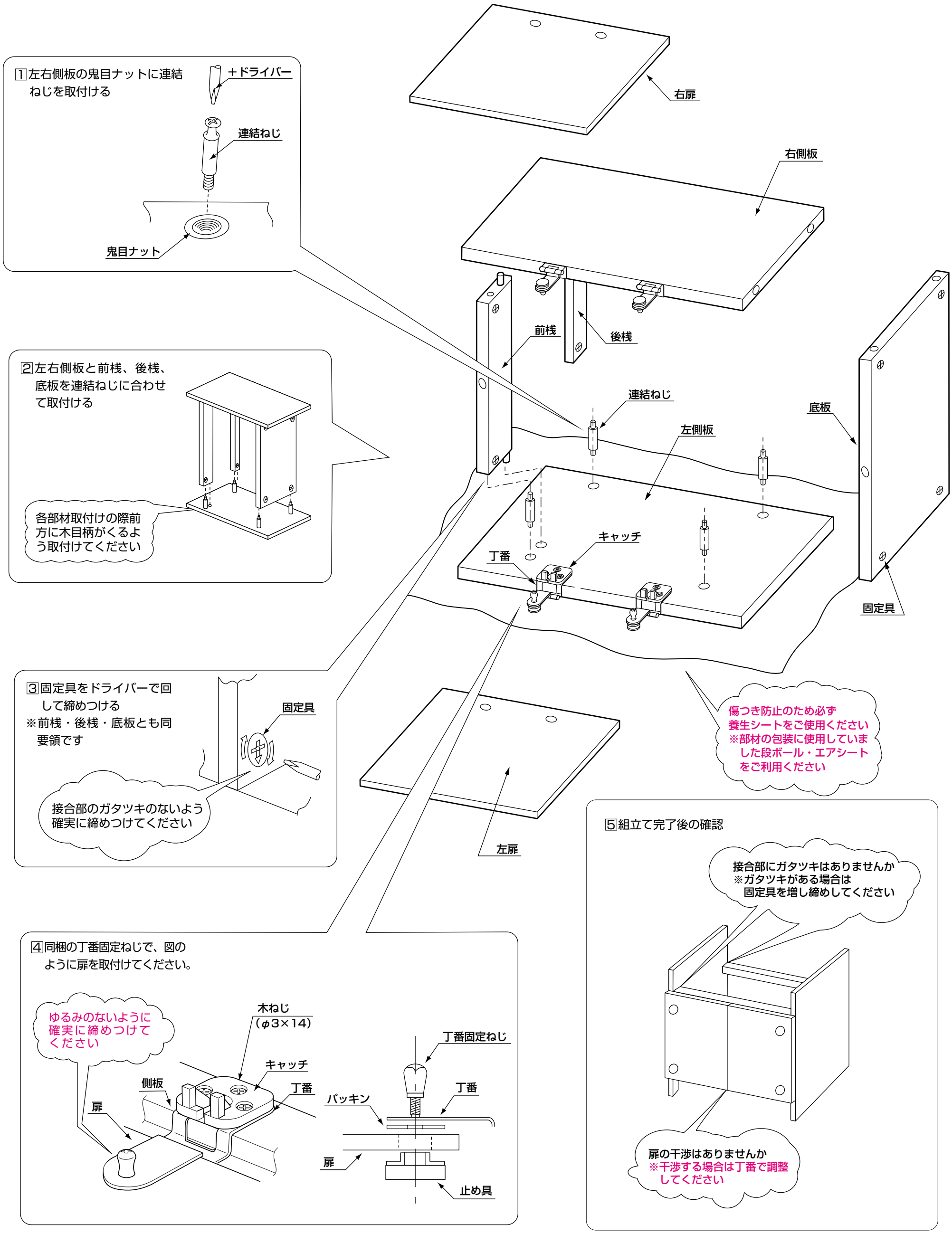


# ☆取付手順（番号順に取付けてください）

タイル・コンクリートの壁・床の場合は、現場に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打込んでおいてください。
（プラグ用下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。）

## ①キャビネット部の組立て（ウッドパネルタイプ　扉付）

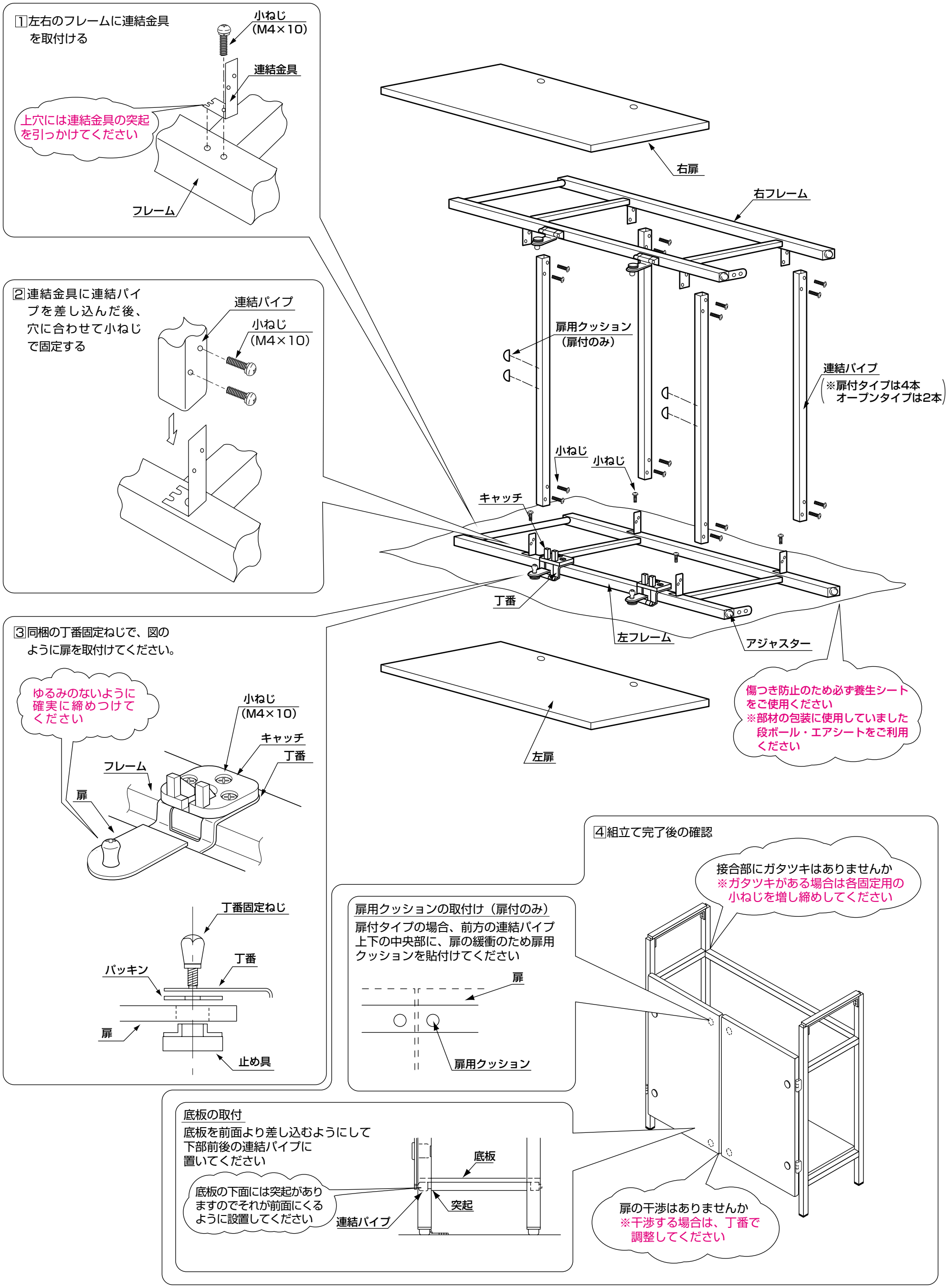
※オープンタイプの場合は扉・丁番・底板及びそれらの固定用部品がありません。




裏面に続く

## ②キャビネット部の組立て（パイプフレームタイプ　扉付）

※オープンタイプの場合は、扉・丁番・下部の連結パイプ及びそれらの固定用部材・連結金具はありません。
注)ねじ固定について強く締めすぎると､破壊のおそれがありますので電動ドライバーやインパクトドライバー等の使用はやめてください。

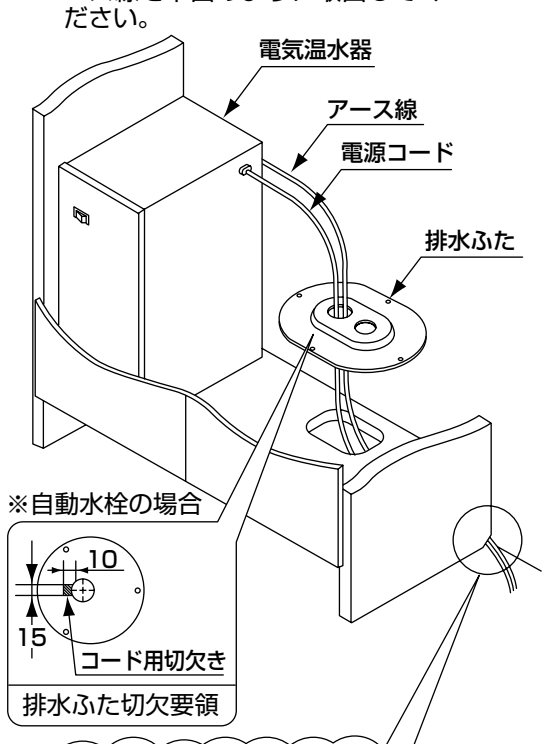


## ③キャビネットの取付け（ウッドパネルタイプ）

●オープン・扉付タイプとも1,2,3は共通です。

〈電気温水器を取付ける場合の注意事項〉

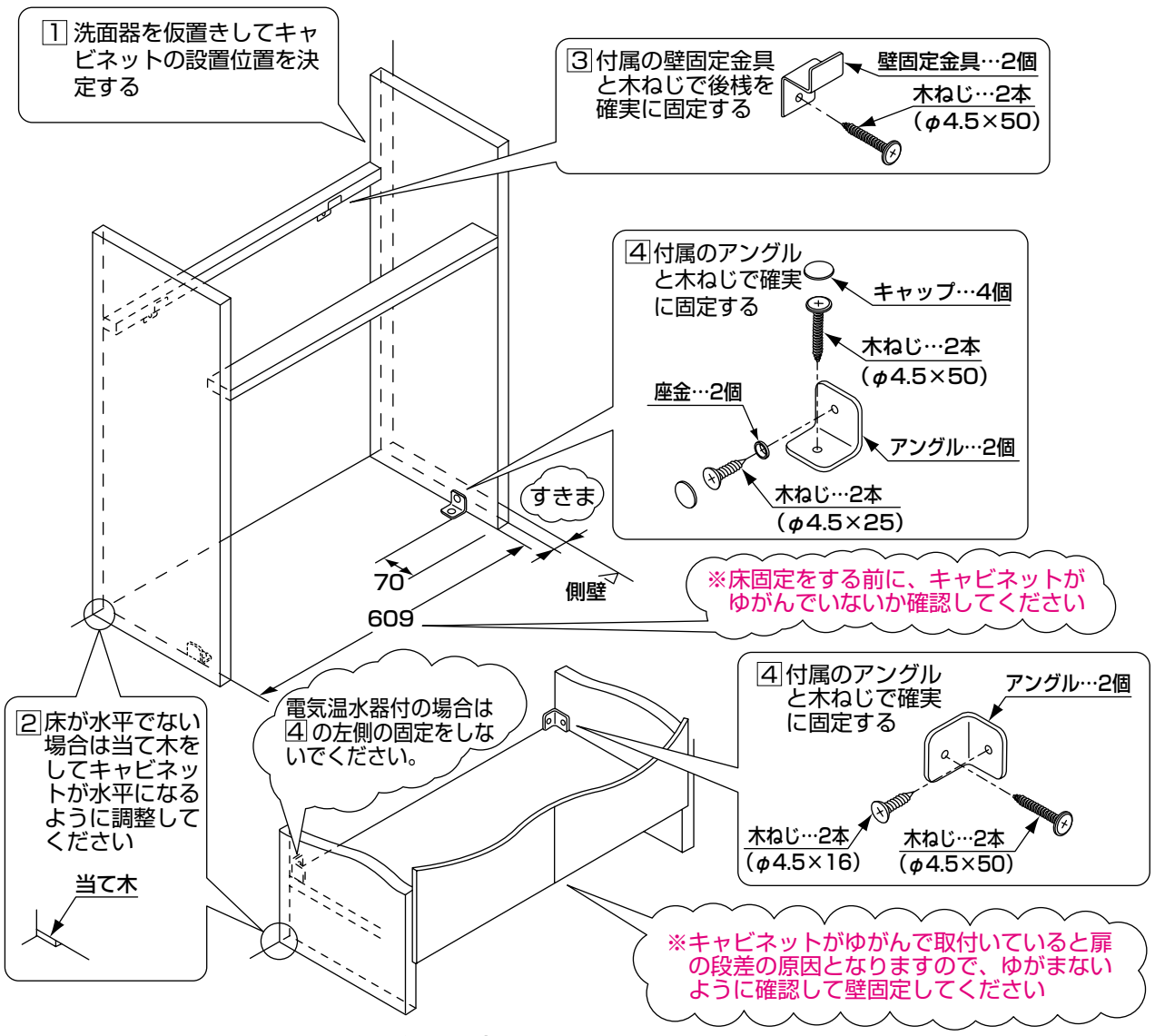
●電気コンセントがキャビネット外にある場合は、キャビネットを壁固定する前に、電源コード及びアース線を下図のように取出してください。




※側板の切欠き部にコードを通すときは、壁との間にはさまないように注意してください

※電気温水器の取付けについては、順序の⑫の際に同梱の電気温水器専用の施工説明書を見て取付けてください。

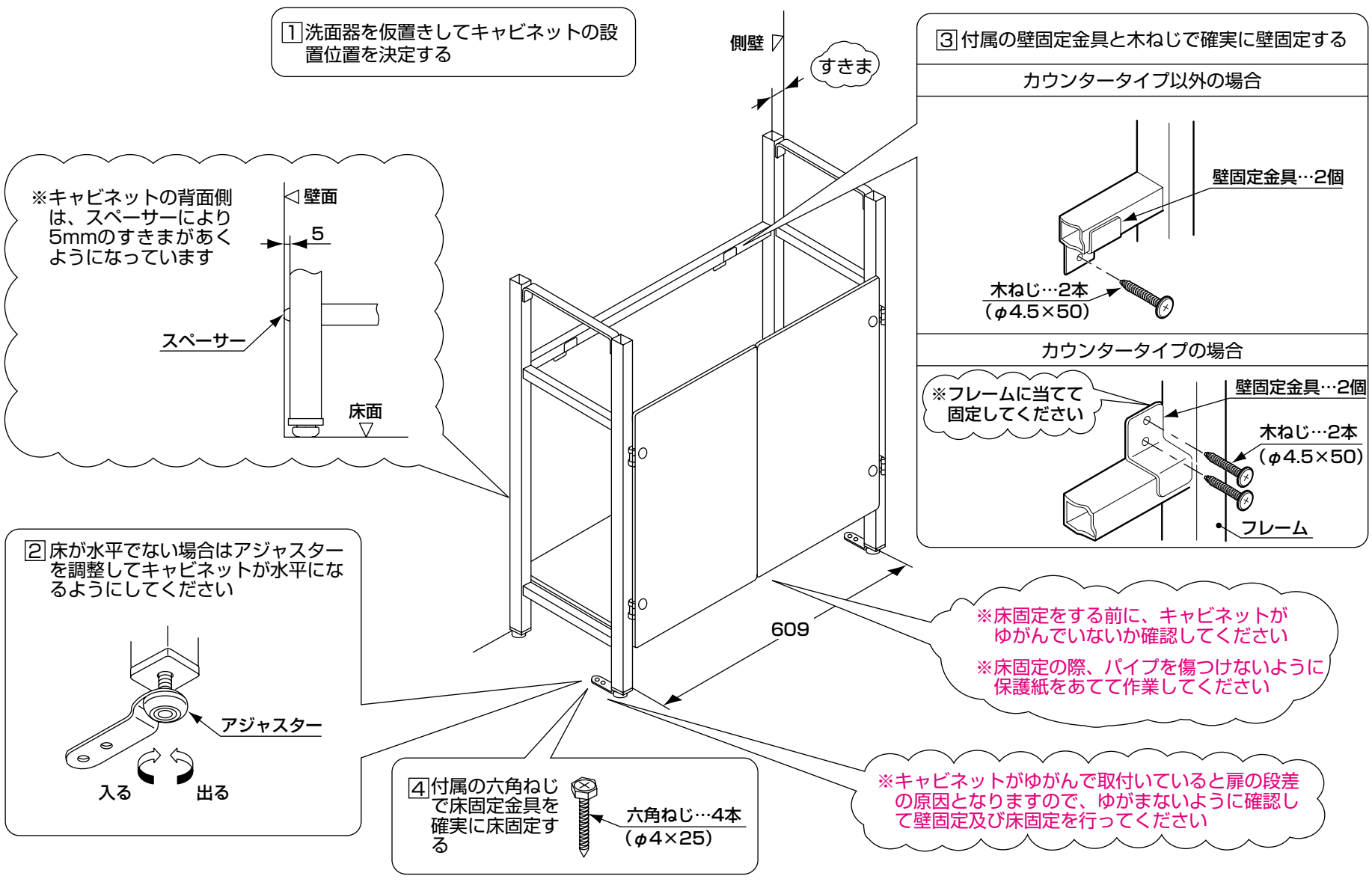
〈オープンタイプの場合〉



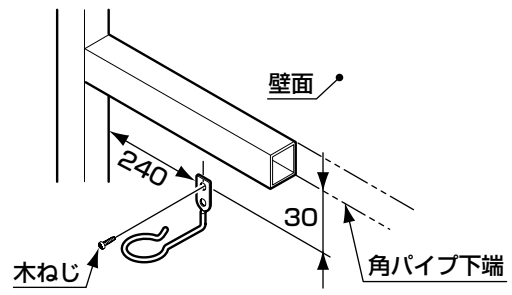

〈扉付タイプの場合〉

## ④キャビネットの取付け（パイプフレームタイプ）

●オープン・扉付タイプとも取付け方は共通です。

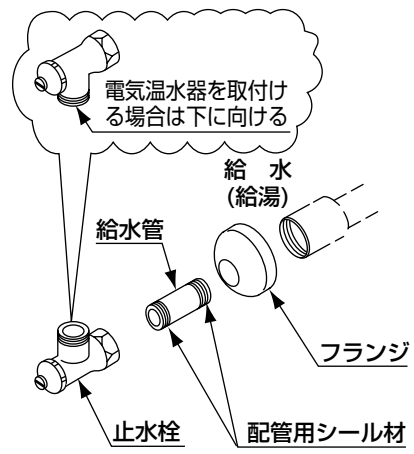


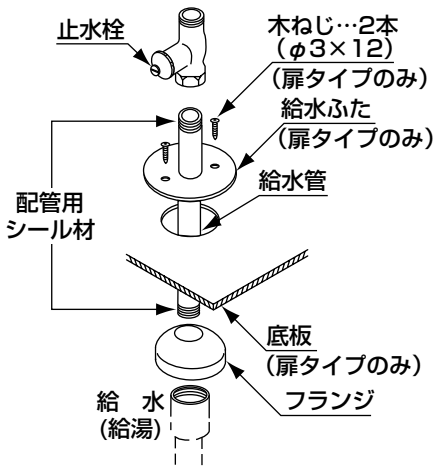
## ⑤ホースガイドの取付け
（ホース付シングル水栓の場合のみ）



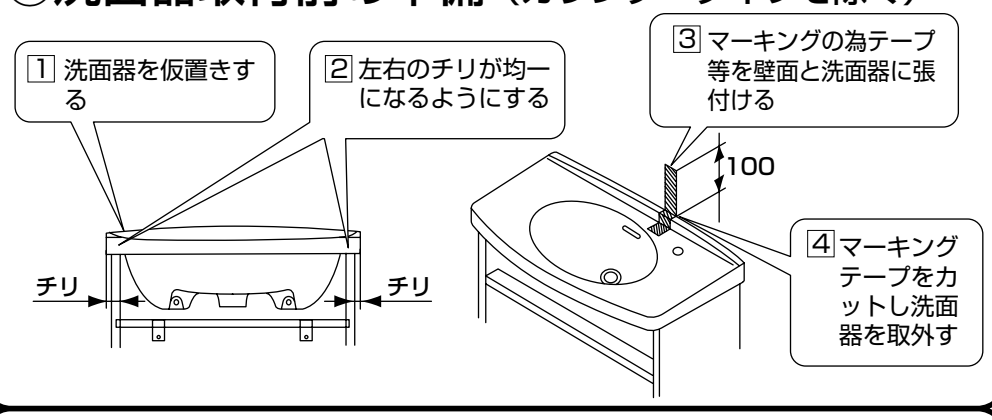

## ⑥止水栓の取付け（別売品）

- ナットは工具で確実に締付けてください。
- 壁給水の場合
- 床給水の場合



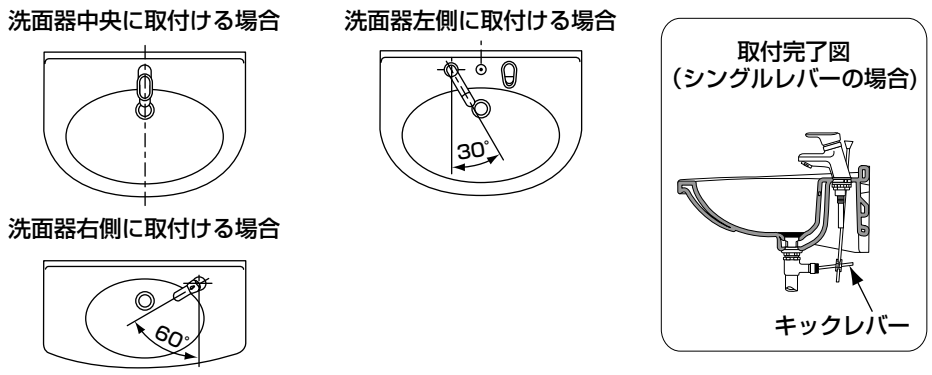




## ⑦洗面器取付前の準備（カウンタータイプを除く）



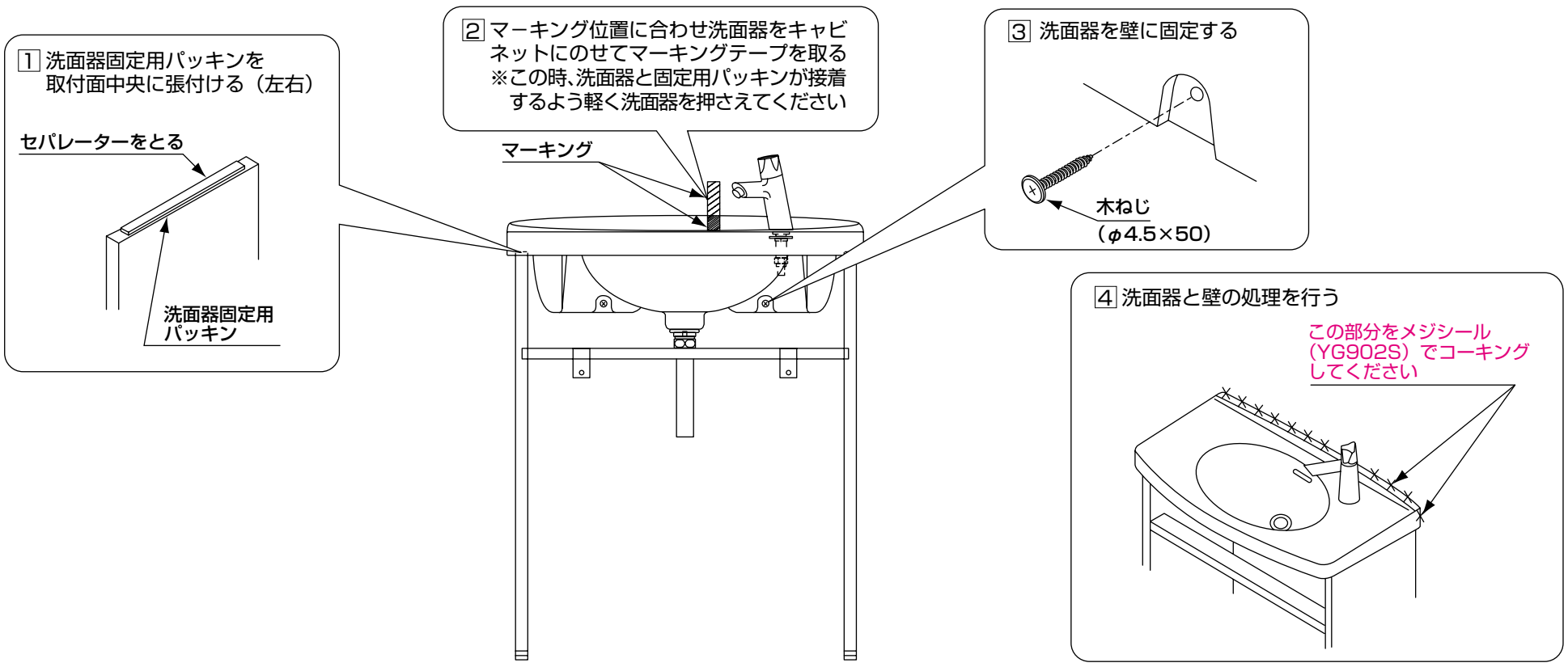

## ⑧水栓金具・排水金具の取付け（カウンタータイプを除く）

- 洗面器に水栓金具及び排水金具を取付けてください。
- 水栓金具の取付けについては、水栓金具に同梱されている説明書をご参照ください。
- 排水金具の取付けについては、排水金具に同梱されている説明書をご参照ください。
- 水栓金具は、吐水口が洗面器中央を向くように取付けてください。（下図参考ください。）



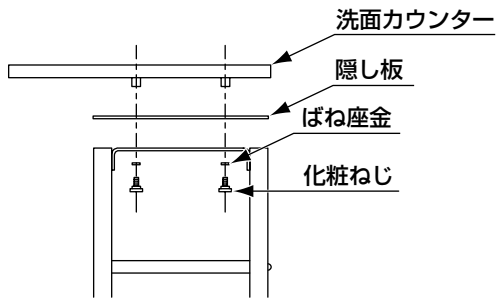

## ⑨洗面器の取付け
（カウンタータイプを除く）

注）洗面器を取付ける前に必ず排水金具を取付けてください。洗面器を取付けた後は、排水金具の取付けは出来ないことがあります。



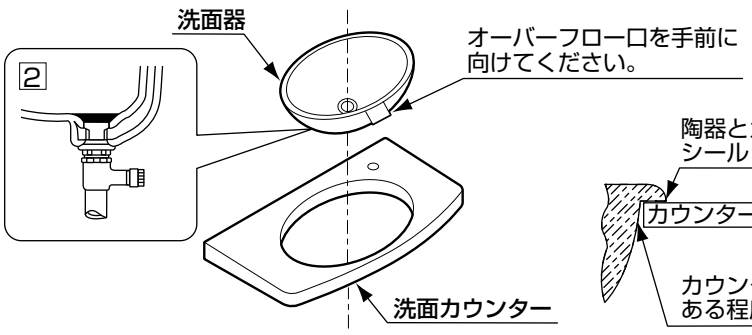

## ⑩カウンター・洗面器・水栓金具取付け（カウンタータイプのみ）

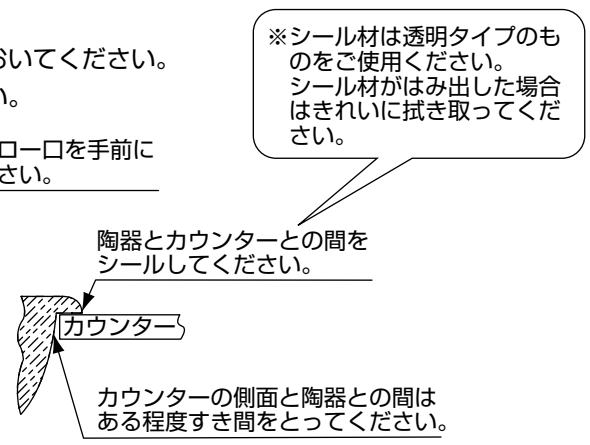
1 図のように洗面カウンターを化粧ねじで固定してください。



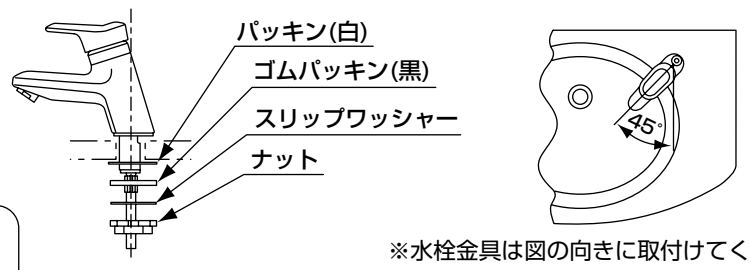

2 洗面器にはあらかじめ排水金具を取付けておいてください。

3 洗面カウンターに洗面器を取付けてください。



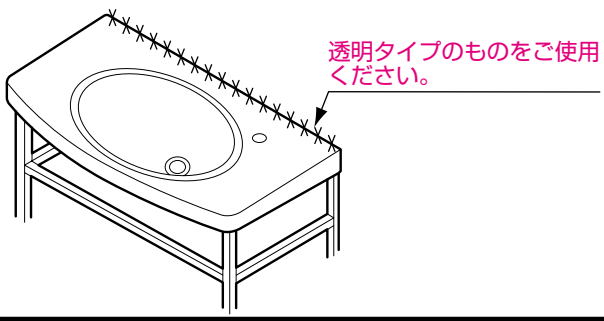




4 水栓金具は水栓金具に同梱されている説明書をご参照ください。
尚、洗面カウンターに取付けの際、シングル水栓の場合は図のようにパッキン（白）をゴムパッキン（黒）の上に入れてください。



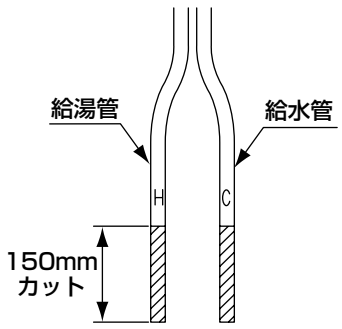

※水栓金具は図の向きに取付けてください。

5 洗面カウンターと壁面が接する部分をコーキングしてください。



## ⑪給水・給湯管の接続

- 給水・給湯管を止水栓に接続してください。接続要領は、水栓金具に同梱されている施工説明書を参照ください。
- 電気温水器付タイプの場合、右図のように先端より150mmカットしてください。
(自動水栓タイプを除く)

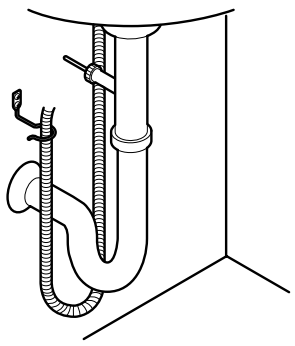



## ⑫電気温水器の取付け（電気温水器付タイプの場合）

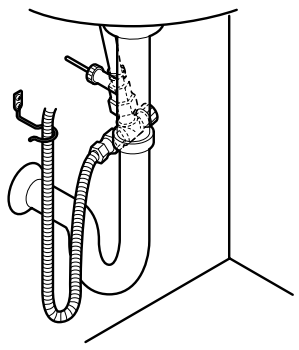
- 電気温水器の取付けについては、電気温水器に同梱されている施工説明書を参照ください。

## ⑬シャワーホースの連結
### （ホース付シングル水栓のみ）

- 壁排水の場合はシャワーホースを下図のよう連結してください。
（注）連結後にシャワーホースのねじれがないことを確認してください。



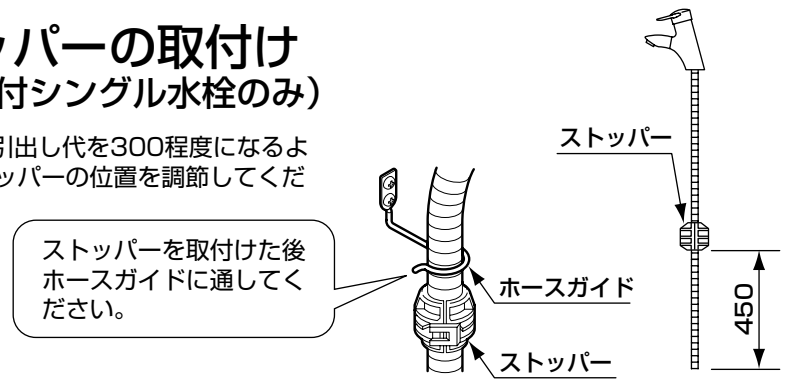
※シャワーホースは排水パイプの下を通して連結してください。
〈一般タイプ〉



※シャワーホースは必ず排水パイプより左側に片寄せして連結してください。
〈寒冷地タイプ〉

## ⑭ストッパーの取付け
### （ホース付シングル水栓のみ）

- ホースの引出し代を300程度になるようにストッパーの位置を調節してください。

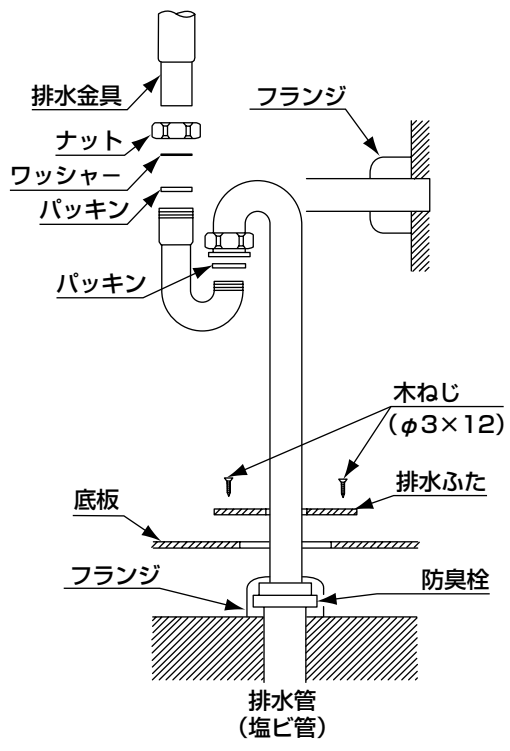


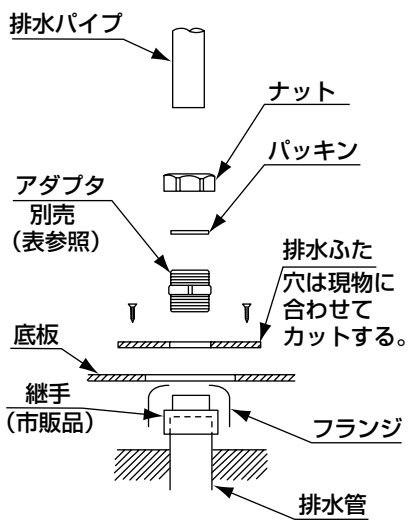

## ⑮排水トラップの取付け

- ナットの締付けは排水金具が回転しないよう工具で確実に締付けてください。
- Sトラップの場合は、排水管に防臭栓をはめてトラップ及び、フランジを差込んでください。
- 集合住宅、高層住宅の場合、排水管とトラップを別売のアダプタ（下表）で確実に接合してください。
- 電気温水器の取付けについては、電気温水器に同梱されている施工説明書を参照ください。

### 集合住宅、高層住宅の場合

| アダプタの種類 | サイズ |
|---|---|
| T1122（ガス管用） | R1 ¼ |
| T1122J（塩ビ管用） | 30用 |
| T1122T（塩ビ管用） | 40用 |

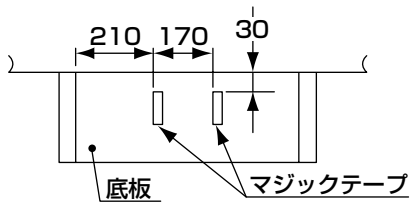



※排水ふたは、扉付きタイプのみ同梱しております

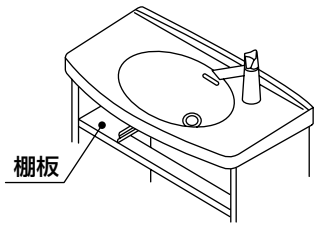
## ⑯水受けトレイの取付け
### （ホース付シングル水栓のみ）

※底板の表面をきれいにしてください。
- 水受けトレイの底面にあるマジックテープを右図位置に張りつけてください。



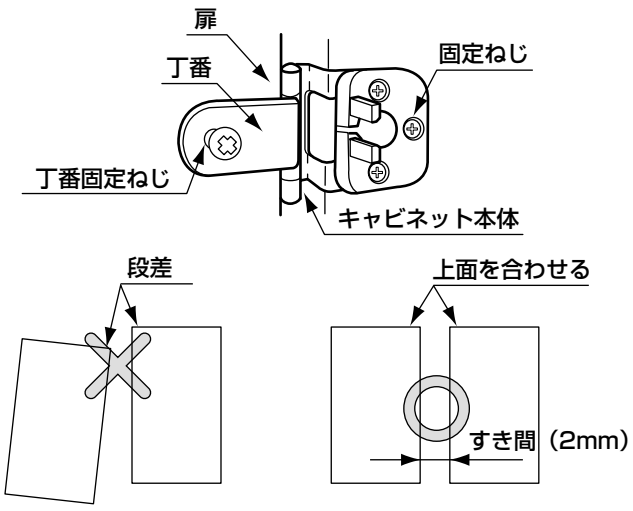

## ⑰棚板の取付け
### （ウッドパネルタイプのみ）

- 棚板を取付けてください。




## ⑱丁番の調整

(1) 丁番固定ねじを少しゆるめてください。
※丁番固定ねじをゆるめすぎると扉がはずれるおそれがありますので注意してください。
(2) 左右扉のすき間が均一（2mm）になるよう左右の傾きを調整してください。
(3) 調整後は、丁番固定ねじを確実に締めつけてください。




注）丁番固定ねじをしっかり締めつけてゆるみのないことを確認してください。
ゆるみのある場合は、扉がはずれるおそれがあります。

## ☆結露防止（電気温水器付タイプの場合）

- 結露のおそれがある場合は、連結管に市販（16mm用）の断熱材を巻いてください。

## ☆寒冷地タイプの水抜方法

- 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。
凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。
また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

（水抜手順）
(1) 水栓金具の水抜方法については、水栓金具に同梱の施工説明書を参照してください。
(2) 電気温水器の水抜方法については、電気温水器に同梱の施工説明書を参照してください。

## ☆取付け完了後の確認と清掃

- キャビネット及び洗面器が、がたつきのないよう確実に固定されていることを確認してください。
- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- 湯水の出が多い場合は、洗面器からの水跳ねや水あふれのおそれがありますので、止水栓を調整してください。
- 電気温水器タイプ又は、自動水栓タイプの場合、設置後長期間使用されない場合は差込みプラグを抜いてください。
- 製品の清掃は、ぬれた布をかたくしぼって汚れをふいてください。

（頑固な汚れには、うすめた中性洗剤の液を湿らせた布でふいてください。
その後ぬれた布をかたくしぼってふきとってください。）

仕上げにからぶきしてください。
シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

〈カウンタータイプ〉
- 柔らかい布かスポンジに、石けん又は、食器用中性洗剤をつけてふいてください。その後もう一度水ぶきしてから乾いた布で水分をふき取ってください。
- 油性の汚れなどはエチルアルコール（薬用アルコール・薬局で購入できます）でふいてください。